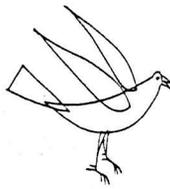


OB一言通信



*田村 昭夫 0期

山小屋酒場「月見の宴」での句会で迷句を詠む為に目下特訓中。やまざと8号には参加全員の迷句、駄句を載せて下さい。無論参加出来なかった人の句も。

*森島 稔 4期

やまざと7号('97夏号)ありがとうございます。編集のパワーに敬服しております。楽しみにしていますので今後ともよろしく。

山には未だ近づけない程、毎日が緊張(ストレス)の中にありますが、これも半年余りでしょう。今はプール通いがせいぜいです。皆さんと共に楽しめる日を期しています。

*合津 尚 3期

月のうち半分を釜石市で仕事をしている関係で、9月15日に久し振りに山(早池峰山、薬師岳)に登りました。2000m弱の高さがありますが、一日で消化できたということで、体力に自信がつかしました。

*篠島 益夫 8期

今日は広島時代から一年振りの山歩き。岡山郊外の熊山へ登り下り4時間、久し振りに良い汗をかく事が出来た。頂上はやって、備談瀬戸の展望はなかったが、奈良朝の熊山遺跡には巡り合った。

ワングル時代の見上山荘から医王山トレを思い出しながら、よく似た山道だった。

*平村 耕作 9期

やまざとありがとうございます。楽しく読ませていただきました。秋の小屋酒場、是非行きたいと思っていたのに今回行けなくて残念です。次の機会に心身共に鍛え直して参加します。

なお、今年の初め「部誌ベルクハイム資金カンパ」の話がありました。当方なんやかやで出していないかと思ひます。少しですが同封し

ます。もし締切で受けられなければ、山小屋リフレッシュへのカンパなど、お任せします。今後ともよろしくお祈りします。皆さんによりしくお伝え下さい。

*吉田 幸造 9期

今度の休みも休日研修で、年配者に厳しくなる今日この頃です。

先日同じ部署の若者と話をしたら子供の頃全国を転々と、父親の最後の仕事はスーパー林道で、今時々つれていくことがあるとのことでした。意外と身近に話をしたい人がいるものだと思います。

私の息子も徳島大学ワンダーフォーゲル部へ行っているようです。山で会ったら又かわいがってやって下さい。

私は山へは行けませんが、森林ボランティアに時々参加、木と土のにおいに親しんでいます。山小屋酒場が繁盛するのを祈ります。

*守内 成一 11期

何時も連絡ありがとうございます。残念ながら小屋酒場は不参加です。

*長岡 正利 11期

この秋、金沢で地図展があります。よろしかったらご覧下さい。いろいろ盛り沢山、詰め込みすぎの展示ですが、新建設大臣所蔵の地図も1点あります。

*松林 知一 15期

「やまざと」拜受。いつもありがとうございます。さて今夏は「山復帰宣言」を実践に移すべく、伊吹山に始まって(頂上まで完歩)剣岳(馬場島まで)三ノ峰(石徹白大杉まで)とわけ入ってきました。

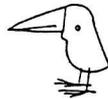
そして本日は決意も新たにゴージツ高尾店へ行き、18000円のアテックスシューズを買ってきました。北アの稜線へデビューする日も近い?自分を奮めてやりたいと思ひます。

*舟田 節子 15期

帰宅するなりワッと泣き伏す三男坊…。聞けば昨年来入りがっていたサッカークラブに親友のK君も入団することになり、「K君まで入ってしまう。遊ぶ子がなくなる。僕だって入りたいのに！」

親まで拘束される今時のスポーツクラブ。「山行の敵！」と排除してきたもの…子供には子供の人生。よくぞこれまでオジンオバンに付き合っただけで登ってきた！今度は親が我慢してやることにしました。ホント、出番のない息子の応援に一日潰される身って我慢も我慢です。日差しと埃を浴びてお肌の方もあいかわらずの酷使です。

でもねえ…シュートが決まった時の笑顔、涙をうかべた赤味のさした顔、それが友達と遊んでいるうちにはころんでいく…ジワッとくるシーンがいくつもあってねえ。舞台は山に限るわけではない、燃焼したといえる時間に浸ってほしいと、どの子にも思います。



*清水 重仁 16期

毎度ご案内ありがとうございます。今回は現役も交えての酒場（作業）ということで楽しくなるでしょう。しかしながら当方は子供の運動会と重なってしまい、残念ですが参加できません。特に常連の方々にはよろしくお伝え下さい。

赤布の件ですが、元々は私の独言から発したと思いますが、実行の運びに至ったことは、皆様のご賛同を得たものと判断させていただきます。なお実施については今回不参加という事情もあり、関係者に一任しますのでよろしくお願ひします。

（お約束通り小屋酒場の時に「白山-BHPW」の赤布をはずし、しみだらけのまま高村夫人にお送りしました。どの程度に復元をと？困惑されたようですが、現物よりもっときれいな字のものが、来春もとの場所に収まる予定です。）

*渡辺 和文 17期

小屋酒場の盛況喜ばしい限りです。今夏、家族で湯涌温泉に一泊。犀川ダムにも20数年ぶりに行きました。駒帰から先は舗装されていたものの、現役の頃の風景を思い出させてくれました。しかしよくあの長い道を歩いたものだと思います。ダムから小屋まで2Pかかりましたよね。下宿（馬場小前、工学部前）、角間キャンパスにも行ってきました。

*椿川 利弘 18期

今回は、町内会、小学校の役員をいろいろな行事があり、田んぼの方も重なってどうしても出られません。すみません。

*梶 典雅 19期

今年の夏は最悪。梅雨明けから1ヶ月の入院。しかも、その後半年間は安静とかで、当分の間山にも行けず、おとなしくしていなければならぬ状況。

*久富 象二 20期

いつも事務局のお仕事御苦勞様です。お役に立てず恐縮しております。

さて17日の件（現役3年生との懇親会と役員会）ですが、折悪く16、17日と熱海へ出張がありまして、17日の掃りが遅くなりそうなので、欠席とさせていただきます。懇親会後の役員会の内容については後日お聞かせ願えればと思います。

諸準備大変のこと、心苦しくはありますが、お集まりの諸兄でよろしくお進めいただければと思います。何卒よろしく。

（岡部さんがねえ。この間のマラソン、象さんに負けたと悔しがってましたよ。あいつも相当走り込んでるねって。そお。姉さんは高三郎をバックの象さんだってかっこいいだろうと思っただけど…。）

*鈴木 康之 23期

住所が変わりました。

*石本 一鶴 25期

9/26-10/5はフィリピン出張。

10/10-3/27はインド出張の予定です。

80kg超のデブになり、この頃はエスカレーターも遠慮して歩いています…。海外生活では運動量が落ちてしまいます。そしてさらなるデブへと…。

*益川 珠美代 26期

やまぎとNO拝受いたしました。いつもいつもありがとうございます。小学校1年生を担当していて、会話も思考も「ひらがな」の毎日です。「拝受」は国語辞典でひいたばかりなので、大丈夫!です。

*土井 泰彦 28期

今年の4月に住所が変わったことをそちらにお知らせしました。やまぎとの中にも変更が記されていましたが、やまぎと自体が旧住所に送られていました。よろしく願います。

(お心遣いをいただきましたのに、チェックがいき届かずすみませんでした。懲りずにご連絡をお願いします。)

*松島 佳久 31期

渡米中ですので、払込用紙もう一度旧住所に送って下さい。(佳寿代筆)

*奥出 俊一 33期

気象予報士の資格を取りました。そこで「もうくお天気乞い」は昔のこと。雨男?怖くないもんね」と思い上がっていたら痛い目に遭いました。

10月に同期3人で出掛けた裏剣はアラレが雪に変わり、烈風吹きすさぶ剣沢の酷寒テントで

はまんじりともできず、この荒れ方はきっと、ワンゲル界の雨男・雨女達の逆隣に触れたに違いないと、本気で反省しつつ夜明けを待ちました。

*金田 学 34期

今年の4月から住所が変わりました。

*樫村 美智子 36期

いつも御苦労様です。春に住所変更をお知らせしたつもりでいたら、どうやら勘違いだったようですみません。学生時代と大して変わらない場所です。(下記に示します。)何かお手伝いできることがあったらご連絡下さい。

*田中 充 36期

結婚しました。住所は下記のとおり変更になりました。小屋へはまた行きたいのですが、行けそうにありません。

*橋本 征治 38期

大学を卒業して社会人となりました。だが、何を血迷ったのか会社の登山サークルに入ってしまった。どうやら山から離れられなくなったようです。半年に1回くらいしか山には行けません。これから続けていこうと思います。

*石川 明弘 36期

裏面のとおりに引越をしました。大阪の雰囲気の方が私には合っているような気がします。次回の配布物はこちらへ願います。それではまた。

PSそろそろプロバイダ(日本海ネット)と契約なさっては?

(そろそろE-Mail addressをもたれては?我々36期は半数以上持っています。舟田さんともあろう方が…。結構通信手段としてのコストは安いです。)

(ご親切にありがとうございます。この事務局長職を退けば、ものにする時間が出てくるかも…。はや



けど、まず差出人の名前を書きなさい(っつうの！)

*松尾 秀邦様 元顧問
(愁心碑の説明文揮毫依頼へのお返事)

前略。電話でもご連絡頂き、早速拝見致しました。とにかく悪筆につき御勘弁御願ひ致したいと思います。

同封の「石川県の山」有り難く懐かしく拝読致しております。

また、同封の写真<愁心碑補修完成時に写したもの>、顔に覚えの人々がありますが、上馬君以外の方々の名前が出てきません。紅一点は貴女と思いますが、<それは訓子さんです。> 10月11日兼六荘に留まり、12日は白峰に入ります。今度は19日まで。(途中16-17日は富山)

<松尾先生は現在松山市にお住まいですが、文面からすると、石川県へはよくお越しになっているご様子です。>



秋の小屋酒場

9月20日 午前6時 犀川ダム発
田村(3期) 奥名(15期) 舟田(15期)
(登山道修復…田村、舟田)
(日帰り…奥名)
分岐一頂上の中間地点までを整備

午後3時 犀川ダム発
辰野(13期) 吉田(13期) 松林(15期)
9月21日

トイレ築造資材切り出し 小屋仕舞い

お釜のはなし---

秋の小屋酒場のキャッチフレーズは…釜炊き栗飯を食べよう！でありました。ところが…

まず、かつて小屋にあったお釜はというと、それが…お釜の宿命で底が抜けましてね…それは教祖様が何ともいえないリサイクルをなさいました。そう、例の洋式便所の台座としてご利用あそばされたのでございます。お釜の縁にはU字型便座が据えつけてございました。ハア私はかつてお米を炊いたものを跨ぐなど、いかにリサイクルといえどもいたしかねて使用してはおりません、ハイ。

ともあれせっかく竈が補修されたことでもあり、お釜にこだわって探したんでございます。それが本当になくて、やっと横安江町のカナモノ屋というたまたまの所で見つけたんです。が、それは一番小さいサイズで、あとはカタログで取り寄せなければと言われました。おまけに本体が1万円以上、木蓋は別売りで、本体より高い とのこと…。1年に1度使うか使わないかのものに2万円…。いかにOB会計からとはいえ…で、あきらめたんでございます。酒場の当日はお鍋で、しかも現役の皆さんとも分けましたから、栗(市販のむき栗)はあったかないかの栗飯でございました。

よって「釜炊き栗飯を食べよう！」のテーマはいまだ達成をみておりません。どこかのお宅に忘れられたお釜がきつとあると存じます。使って道具としての命を全うさせてあげるのも功德ではないでしょうか。

BHへのご寄付を呼び掛けるものでございます。
(舟田 節子)